

おうみはちまん

議会だより

2021
(令和3年)

第48号

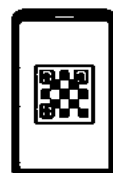
8月1日発行



今号の主な内容

- 2～3 ◆小学生議場見学
- 4 ◆臨時会の概要・就任挨拶
- 5 ◆表彰状伝達式
- 5～16 ◆6月定例会概要・個人質問・委員会審査報告
- 17 ◆委員会名簿
- 18 ◆政務活動費収支報告
- 18～19 ◆提出議案と議決結果一覧
- 20 ◆近江八幡市気候非常事態宣言

©日田慶治/滋賀県/びわこビジターズビューロー



二次元バーコード（個人
質問ページ）で本会議で
の質問の様子をご覧いた
だけます

ようこそ近江八幡市議会へ



「近江八幡市では、わたしたちの願いを実現するための話し合いはどこで行われているのだろう」とのテーマのもと市議会の役割について学習するため、桐原小学校6年生96名のみなさんが4月23日に本会議場を見学されました。

①議場を見学して



議長席・執行部席・傍聴席など本会議場内部を見学。

②議員席に座ってみて



児童が執行部席・議員席に着席後、市長・教育長・議長・副議長が入場。

④本会議を体験できました



児童の代表が市長・教育長へ質問席から質問をして、市長・教育長が答弁席から回答。

③市長の説明を聞いて



市民の要望から大型遊具が設置されるまでの流れを例に挙げ、市長が市議会の役割について説明。

議場見学を終えて

～桐原小学校6年生のみなさんの感想～

議場を
回ったとき、道にある看板の人の名前を見つけたとき、本当にその人たちがこの場所で会議を行っていると思うと、改めて私たちは貴重な体験ができたんだと感じました。この経験を生かして、これから近江八幡市民としてよりよいくらしを心がけます。



市役所の議場見学に行かせていただいてありがとうございました。ぼくは、市役所の1階には、何回も行ったことがあるけれど、4階にある議場には行ったことがないので、行かせてくださってうれしかったです。市議会は、傍聴席でいっぱいの人も見られるので、また機会があれば、見に行きたいです。



今日、市役所に行って学んだことがたくさんあります。1つ目は、議場に入らせてもらいました。よく見たら議員さんの座る場所はすでに決まっていた。2つ目は、議場に入ると空気が変わって静かになることと緊張することがわかりました。私は、市長さんのとなりだったので、すごく緊張しました。市長や議長・議員さんの話し合いやアンケートをとって賛成、反対の意見を聞いて決めているそうです。市役所のみなさんはみんなが楽しく、安心安全にらせるように工夫してくれているので、これからも安心安全にらせるなと思いました。



4月臨時会の概要

令和3年第2回市議会臨時会を4月28日に開きました。

開会后、当局から補正予算および条例関連の専決処分の承認議案3件、固定資産評価員に係る人事案件1件の、計4件が上程され、提案理由の説明が行われました。

その後、専決処分のうち予算関連議案2件は予算常任委員会に、条例議案1件は総務常任委員会にそれぞれ付託され、各常任委員会で審査を行いました。本会議再開後、各委員長から審査報告があり、採決の結果、当局より提案された全ての議案を原案どおり承認および同意しました。

この臨時会では、議長選挙および副議長選挙を行い、第12代議長に平井侑治議員、第13代副議長に小西勸議員を選出しました。また、議会運営委員会、各常任委員会の委員は全て改選、特別委員会の委員の一部にも変更があり、各委員会で委員長、副委員長の選出を行いました。

その後、市長から追加議案として近江八幡市監査委員の選任議案が上程され、議員選出の監査委員として井上芳夫議員を選任同意しました。

*各委員会等の委員は17ページをご覧ください。

議長就任のご挨拶

平井 侑治



去る4月28日に開催されました第2回臨時会におきまして、市議会議長に就任をさせていただきます。平井侑治でございます。

大変、身の引き締まる思いとともに、あらためて、その重責を感じておるところでございます。微力ではございますが、これまでの近江八幡市議会の歴史と伝統を踏まえながら、引き続き、円滑な議会運営に邁進させていただきたいと存じております。

さて、新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種が順次進められておりますが、未だ収束が見込めない状況です。

その中で、感染リスクに立ち向かい、社会生活の維持に必要な機能を支えている医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの方々に深く敬意を表し、感謝申し上げます。

市議会としましては、行政当局と連携を密にし、今後もワクチン接種の円滑な運営に取り組んでいく所存であります。

また、加えて、近年の大規模地震や気候変動による水害や土砂災害などへの備えや、人口減少・少子高齢化による地域力の低下など、まちづくりの課題にも対応していく必要があります。このような状況の中、市民の代表としての意思決定機関であります地方議会が果たすべき役割と責任は、今後ますます重要になってまいります。

議長の職を預からせていただく以上、近江八

幡市議会基本条例の趣旨のもと、公平・公正かつ円滑な議会運営に努め、市民福祉の向上と市政発展のために、誠心誠意、市民の皆様の期待と信頼に応えていく所存でございます。

今後とも、皆様方の格別のご指導とご理解ご協力をお願いするとともに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を心よりお祈り申し上げ、就任あいさつとさせていただきます。

副議長就任のご挨拶

小西 勸



この度、4月臨時会におきまして、多くの議員のご推挙により第13代副議長の大役を担わせて頂くことになりました小西勸でございます。誠に身に余る光栄であり、選任いただきました以上、微力ではございますが、平井議長とともに職務に全力を注いでまいる所存でございます。

聖徳太子の言葉に「和をもって貴（とうと）しとなす、逆らう事なきを旨とせよ。」という言葉がございます。この言葉の意味につきましては、「たとえ意見が対立をしたとしても、お互いを尊重しながら納得するまで議論をし、いさかいを起こさぬことを根本としなさい。」とのこと、この言葉を胸に刻み、議員各位のご意見を拝聴しながら、小西市長をはじめ当局の皆様方とも協調し、近江八幡市民の皆様方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう責務に邁進させていただきますことをお誓いし就任にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

全国市議会議長会からの表彰状及び感謝状の伝達式が行われました

6月定例会の開会日の冒頭に、10年の長きにわたり市政の振興に努められた功績に対して、平井偕治議員、北川誠次議員、片岡信博議員、小西励議員、西津善樹議員が全国市議会議長会から表彰を受けられ、表彰状の伝達が行われました。

さらに、全国市議会議長会の評議員として会務運営に尽力されたことに対し、片岡信博議員に全国市議会議長会からの感謝状が贈呈されました。



6月定例会の概要

令和3年第2回（6月）市議定例会を6月4日から6月28日までの25日間の会期で開きました。

開会後、議長報告、監査報告、市長報告のあと、当局から専決処分承認議案1件、予算関連議案1件、条例議案7件、その他議案2件、人事案件3件が上程されました。

議案熟読期間を経て再開された15日には、当局から条例議案1件、その他議案2件、議員提出議案として意見書1件の合計4件が上程され、同日から17日までの3日間で個人質問を行い、17名の議員から市政に関する質問や議案に対する質疑を行いました。

17日の個人質問終了後、財産区管理委員の選任同意に係る人事案件3件について採決を行い全員賛成で同意しました。その後、各常任委員会に議案が付託され、18日に予算常任委員会を、21日には総務常任委員会を、22日に教育厚生常任委員会を、23日に産業建設常任委員会を開き、当局から議案に対する詳細な説明を求め審査を行いました。

28日の閉会日には、総務、教育厚生および産業建設の各常任委員長から閉会中の所管事務調査について継続審査を行いたい旨の申し出があり、この申し出のとおり決しました。

その後、各常任委員長から委員会審査報告を行い、討論採決の結果、当局から提案された議案は全ての議案を承認・可決しました。また、同日、市長提出の追加議案として予算関連議案1件、人事案件1件が上程され、予算関連議案は予算常任委員会に付託され、本会議での審査報告の後、採決を行い、追加議案全てを可決・同意しました。

なお、議員提案の意見書については賛成少数で否決しました。



個人質問



公政会

富士谷 英正

ふるさと納税制度と自治紛争
処理の申立て取下げについて



問 滋賀県が今日まで近江牛の振興、ブランド確立に向け施設の建設経費（71億円）、運営経費（年6.2億円・償還金年1.35億円）を殆ど支出していることは、県民の税金が投入されていることである。以前の「と畜場」は近江八幡市営であったが、施設の老朽化、赤字経営等財政面などの要因から畜産業、近江牛振興にも大きな問題があった。このことから「近江牛は滋賀県の地域資源である」との本市の考えを県、また他市町に理解を求めての今日の姿、即ち施設整備や運営的にも県に依拠したものであり、今回の市長による審査申立はこれまでの経過を踏まえた市政や歴代市長の認識を無視した事実誤認による審査申立と史料するが見解を求める。

答 市長、総合政策部理事

自治紛争処理委員の審査に付することを求める申出については、ふるさと納税制度における

地域資源認定について、総務省通知において「関係団体の合意の上で、返礼品等を取り扱うこと」とされているにも関わらず、関係自治体の合意を得ずして、滋賀県が地域資源認定を行った手続きに問題があるとして行ったもので、事実誤認による申立てではないことをご理解願います。

過去の経過は理解しますが、現在の地域産業や市民生活を守ることを一番に考え、さらには近江牛ブランドを守り、ひいては、県全体の畜産業に貢献するという考えのもと、今回の判断をしたところです。

「その他の質疑・質問」

① 気候非常事態宣言について

② 新型コロナウイルスワクチン接種について

個人質問



公明党

岩崎 和也

若い世代が活躍できる
環境づくりについて



問 急速な社会の変化とともに、世代間での価値観の違いが大きくなってきているように感じます。将来の近江八幡市を担う若手の職員の意見は重要であり、今後の活躍の場が期待されます。提案などが、業務の改善や更には新しい施策として反映されるとやりがいいにも通じると思いますが、ワーキンググループは一つの活躍の場であると思えますが、現在の状況や今後の展開についてお知らせください。

答 総務部長

政策立案等の会議で若手職員を委員として意見を聞き、取りまとめられた提案を施策に反映させることは、人材育成の観点から重要であると考えています。

現在、人材育成基本方針の改定に向けた策定検討委員会や市庁舎整備における新庁舎の基本設計にかかるワーキンググループを、若手から中堅職員で構成し、検討結果や意見等を施策に

反映しています。

今後も、様々な分野において若手職員の意見が施策に反映できる取り組みを進め、働きがいを出し、次の時代を担う職員を組織全体で育む組織づくりに努めてまいります。



【若手ワーキンググループ】

「その他の質疑・質問」

① 気候非常事態宣言と具体的な取り組みについて

② デジタル化の進捗とこれからの学校教育について

③ 小西市長の市政運営について

個人質問



創政会

岡山かよ子

保健センターについて



問 保健センターは、地域保健法に基づき、地域住民の健康づくりの場であり、また地域における保健と医療、福祉に関わる様々な施設が効果的に機能する拠点として求められています。

新庁舎内に健康推進課が配置され、検診等の事業は、ひまわり館で行うとのことですが、分散配置とすることは、健康づくりの拠点としての保健センターとなり得るのか、また新型コロナウイルス対策の拠点等、今後、様々な事象を想定すると、拠点としての保健センターは必要と考えますが、当局の見解を伺います。

答 子ども健康部長

行政機能としての保健活動の機能強化や保健師等の専門職と各所属との連携強化をめざすこと、地域保健として保健センター機能を果たすための拠点機能を維持確立していくことの課題があります。一方で、拠点は一か所に限定されるものでもありま

せんので、庁舎整備基本計画では、新庁舎とひまわり館の二か所の連携により充実を目指し、然るべき所を保健センターとして位置付けるものと現時点では認識しています。

しかし、拠点機能の充実は今後の重要な検討事項であり、市民への分かりやすさや場所と機能をしっかり位置付けることが必要で、地域保健法第18条の規定を踏まえ、改めて、在り方について関係部署や機関とも協議を検討してまいります。

「その他の質疑・質問」
①安土コミュニティエリア整備等について

②近江八幡市介護予防・日常生活総合事業について

③ヤングケアラーについて

個人質問



日本共産党

森原陽子

市の防災計画と安土小学校整備計画について



問 数か所の避難所は浸水想定域にあります。今回、教育委員会の安土小学校整備地選定委員会で、新築は浸水想定域である移転地と結論されました。

市の防災計画では、「多くの市民を収容できる避難所（小学校等）を防災区域（学区）ごとに整備する。」また、「水害危険区域については、日野川の浸水想定区域は50cm以上の水深」と記載されています。移転予定地は1.0～2.0mの浸水想定域です。浸水域に小学校を整備することは、市の防災計画と矛盾していると考えますが、当局のお考えをお示しくください。

答 副市長

「地域防災計画」では「土砂災害や水害の危険のない場所に立地する公共施設及び防災地区のコミュニティセンター、小学校等をコミュニティエリアとして整備し、災害時に安全な施設を避難施設として位置付ける」と

明記し、避難施設の整備に係る考え方を示していますが、施設整備を規制するものではありません。

また、ハザードマップにつきましても、早めの避難を促すためのものであり、規制を目的としたものではなく、河川改修の進捗や、開発等により地盤高は変わるものであり、今回配布のマップは、現状の河川や土地の状況から作成されています。



「その他の質疑・質問」
①新型コロナウイルス感染症 第5次対策について

②コロナワクチン接種について

③市庁舎建設について

④ジェンダー平等について

個人質問



凜成会

新型コロナウイルス感染症 第5次対策について

山元 聡子



問 今回、災害時の感染拡大防止対策として、災害対策用ワンタッチパーテーション、プライベートルームの配備をお考えいただいております。そこで、昨年各学区で実施されたコロナ禍を想定した避難訓練の総括についてお伺いいたします。また、それらを踏まえて、今後の課題と災害避難対策の取り組みについてのお考えをお聞きます。

答 市民部長

昨年度の本市防災総合訓練については、コロナ禍において必要不可欠な訓練を実施するとの観点から、感染症対策を踏まえた避難所開設訓練を実施しました。

訓練後に実施したアンケートにおいては、受付場所での密集等のご指摘があったことから、大型扇風機、プライベートルーム等を配備させていただきました。また、今年度は、議決をいた

だきましたらワンタッチパーテーションを配備することから、ワンタッチパーテーションの円滑な設営訓練等について、今後、防災総合訓練を計画していく中で検討していきます。



【今回初めて配備されるワンタッチパーテーション】

「その他の質疑・質問」

- ① 新型コロナウイルスワクチン接種について
- ② 小、中学校における教育現場の対応について
- ③ 日野川と立地適正化計画について
- ④ 市の気候非常事態宣言について
- ⑤ 市庁舎建設について

個人質問



創政会

北里学区の 地域課題について

大川 恒彦



問 北里学区内には施設整備事業の未処理案件が幾つか残っておりますが、その中の一つでありますコミュニティセンター建設事業についてお尋ねします。昨年の11月に建て替えとの方向性は示して頂きましたが、その後、学区との協議、調整はどのくらい進んでいますか。また、今後、スピード感を持って進めていくためにはどのような学区との連携や体制の整備を行っていくのか市の考え方をお伺いします。

答 総合政策部長

北里コミュニティセンターにつきましても、建て替えでの方向性を示させていただきました。現在、地元の要望をお聞きしながら建設場所等について、北里学区と調整を行っているところです。

今後、候補地が決まりましたら、必要な予算を確保の上、他学区と同規模で同様の機能を備えたコミュニティセンターを検

討していくこととなりますので、配置や必要な機能の要望を地元で取りまとめいただく窓口を作っていただき、担当課が調整、連携を図るとともに、議員の力添えもいただきながら進めてまいりたいと考えています。



【北里コミュニティセンター】

「その他の質疑・質問」

- ① 市道の維持管理について
- ② 行政施策の取り組みについて

個人質問



ひむれクラブ

八幡堀について

山本英夫

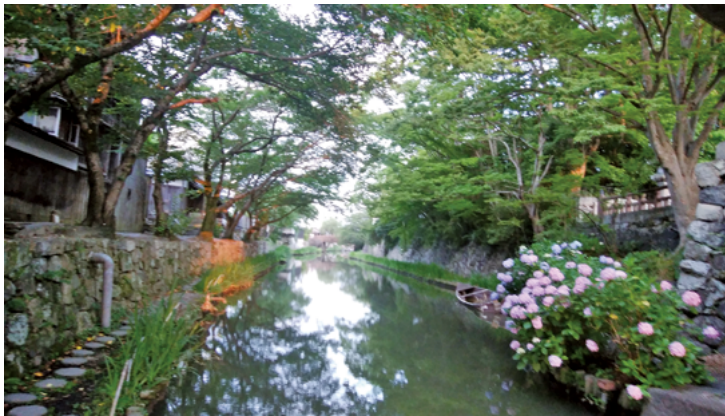


問 コロナ感染の問題から、大規模な清掃作業が今年度も中止になりました。二年連続で地元学区の清掃が中止となりましたが、地元の自治会や町内会、団体、個人のお力により、各地域において随時清掃作業を行って頂いている現状であります。八幡堀は重要な文化的景観にも、伝統的建造物群保存地区にも含まれ、行政としても、環境美化、整備を放置はできないものと思われませんが、どのように地元や団体と、協働の体制とられるのかお尋ねします。

答 都市整備部長

八幡堀（一級河川八幡川）の遊歩道など一部市道認定している箇所などは、景観を損なう状況となれば、何らかの対応を検討することは必要と考えておりますが、それ以外の箇所については滋賀県の管理区域となることから、今後の地域での清掃活動をしながら滋賀県と調整して

対応を検討していきたいと考えておりますので、引き続きご協力賜りますようお願い致します。



【八幡堀】

「その他の質疑・質問」

- ① コロナ関連について
- ② 行政の事業における横の連携について
- ③ 民生委員の活動について

個人質問



チームはちまん

コロナワクチン接種の
小西市政の対応について

竹尾耕児



問 コロナワクチン接種に関して、予約の際に多くの市民の方々が怒りと憤まん、不満と不安を感じておられました。「予約ができない方」「移動手段のない方」へのフォローが弱かったのではないかと感じています。とくに市長自身のメッセージや考え方が見えず、「市長は何をしているのか」というお声を多くの方よりいただきました。予約時の混乱および大量に寄せられた苦情について市長はどう感じていたのかお伺いします。

答 市長

市民の皆様にご不便をおかけしてきたことは、大変しくじたる思いでした。主に「予約が取れない」、「予約受付対応が不十分であり改善を求め」、「かかりつけ医で接種を受けたい」、「集団接種会場まで行けない人はどうすれば良いのか」というご意見がありました。会場選定、予約システム、移動手段に関し様々

な要因があるものの不便、苦勞をおかけして大変申し訳なく思っています。最終責任は市長にあります。陣頭指揮はとってきたつもりですが、ご意見は真摯に受け止め、今後の教訓としてまいります。また、今後は希望される方がもれなく受けられるよう対応していきたいと考えています。



【ワクチン接種会場】

「その他の質疑・質問」

- ① 「子ども・若者育成支援推進法」について

個人質問



志誠会

安土小学校建設と安土コミュニティエリア整備について

西津善樹



問 安土学区コミュニティエリア整備事業は、検討を始めてから8年が経過し、早急な事業実施を望む要望書も提出されており、安土小学校整備地選定委員会から「移転建設が望ましい」との答申が出された以上、直ちに移転建設を推し進めるのが行政の役割です。しかし、未だに予算計上もされておらず、選定委員会の議論をないがしろにされるのでしょうか。また、市長は、移転建設に対する2014筆の反対署名を大事にするといわれるなら、なぜ、署名の有効性の検証をしないのかお答えください。

て出された結果であり、市としても、協議の過程を含め、しっかり受け止めさせて頂いていきます。

また、令和2年12月11日に市長宛てに提出をされました安土小学校を現地に建設することを求めた署名は、地域の方から寄せられた要望であり、法的に強制力があるものではないため、署名の有効性についての検証を行う必要はないと考えています。

答 市長、総合政策部長

教育委員会が安土小学校整備地選定委員会を立ち上げ、全4回にわたる議論を進められ決定された内容について、教育委員会において慎重に審議され、市へ報告された内容は、法に基づく教育委員会の職務権限におい



「その他の質疑・質問」

- ① 市役所新庁舎建設について
- ② 気候非常事態宣言について

個人質問



日本共産党

安土小学校建設について

玉木弘子



問 安土小学校建設は前市長時代から協議されてきました。平成27年12月に開催された自治連合会、まちづくり協議会役員と富士谷前市長との拠点整備事業の懇談において、地元が解決するように投げかけられた4点の課題の内容と、この課題に対する教育委員会の認識について伺います。また、「素敵な安土小学校をつくる会」が、現地で安土小学校建て替えを求める署名2014筆を提出されたことについて、市長はどのように受け止められましたか。

した上で十分な説明が必要であったのではないかと考えております。

また、2014筆の署名につきましましては、教育委員会において決定された移転候補地に対し、安土小学校を現地に建設する要望を頂いており、地域の一つのご意見として重く受け止めさせていただきます。

答 教育部長、市長

課題の内容につきましては、① 一体整備の場所② 移転した場合の跡地の利用方法③ 安土学区選出の議員の意見統一④ 安土学区として意見統一の4点を、当時の協議録から確認しております。課題に対する教育委員会事務局の認識としましては、当時においても比較検討資料を準備



【安土小学校】

「その他の質疑・質問」

- ① 新型コロナウイルス感染症対策関連について

個人質問



公明党

SDGsの

取り組みについて

山本妙子



問 平成24年4月1日から近江八幡市全域において、指定ごみ袋制がスタートして以来、10年目を迎えました。SDGsの取り組みを近江八幡市において、さらに身近なものにするため、また時間じくして、近江八幡市において気候非常事態宣言が出されるといふこともあり、ごみ袋に「一絞り運動」「ごみを減らしましょう!」「次の世代のために!」というようなメッセージを入れてみてはどうでしょうか。

答 市長
現在、家庭用可燃ごみ指定袋大サイズと小サイズ並びに家庭用不燃ごみ指定袋の3種類ついて、合計約420万枚を毎年作成しております。
これらは市民の皆さんが手に取り、目に触れるものであることから啓発媒体としても有効だと考えます。

とを考えます。

このことから、来年度の納品分からとなりますが、従来の印字内容に加えて啓発メッセージも載せてまいりたいと考えております。ご提案ありがとうございます。



SDGs…Sustainable Development Goals (エス・ディー・ジーズ)とは「持続可能な開発目標」の略称

「その他の質疑・質問」

- ① コロナ禍における支援について
- ② 生理の貧困について
- ③ 新型コロナウイルスのワクチン接種について
- ④ 新市庁舎建設について
- ⑤ 安土小学校の整備について

個人質問



新政会

妊娠喪失の

サポートについて

道下直樹



問 厚生労働省によると、流産や死産などの妊娠喪失を経験した女性は、2019年で約2万人に上るとのことです。喪失感の大きさなどから、社会活動への影響、鬱やPTSD(心的外傷後ストレス障害)を発症するリスクになるとの指摘があります。

私は子どもが産まれた家庭に比べ、妊娠喪失した家庭への行政や医療機関のサポートはかたがた薄いと考えております。
本市において妊娠喪失をした家庭に対してどのようなサポートがありますでしょうかお伺いします。

答 子ども健康部長

まず、経済的支援として、医療保険適用外の不育症検査・治療に対し、1年度10万円を限度に、不育症治療費助成事業を行っております。また、妊婦健康診査の回数を、令和3年度から4回分を追加して支援助成の拡充を図っております。



ピンク&ブルーリボン…妊娠喪失した女性の支援を啓発する国際シンボルマーク

次に、精神的支援として、「子育て世代包括支援センター」を設け、助産師、保健師を配置し、精神的ケア、母体の健康管理に向けた支援を行っております。また不育症の相談支援体制の充実として、県の不妊専門相談センター等の専門相談窓口等のご案内や、適切に相談先へ繋ぐ等の支援を行っております。

「その他の質疑・質問」

- ① 出産子育て政策について
- ② 教育行政について
- ③ 市政全般について

個人質問



創政会

空家対策について

南 祐輔



問 本市では条例や空家等対策計画などに基つき、空家対策を進めてこられました。①その結果、②老朽化して危険な家屋に対して、その撤去費用の補助を行う予定はあるか、③馬淵学区をはじめ市内には、今は使われていない社員寮が老朽化して残っている所があり、外壁の落下・火災の発生等の不安を感じる住民の方もおられるが、この様な法人の所有する建物も、国の特措法や市の条例が対象とする「空家」になるのか、以上の3点について伺います。

答 都市整備部理事

①空家の所有者等に対し、適切な管理に取り組まれるよう文書の送付や面談を行った結果、除却や一部対応された空家が63件あり、管理不全となっていた状態が解消されています。②空家の管理は所有者等に責務があるとの基本的な立場に基づき、現時点において撤去費用の補助

制度を創設する予定はありませんが、継続して状況把握に努め、必要に応じて新規支援策などを検討してまいります。③法人が所有する建築物も、使用されていない状態が長期間にわたって継続しているものは、法や市の条例が対象とする空家に含まれると考えます。



「その他の質疑・質問」

- ① 新型コロナウイルスワクチン接種について
- ② 国道8号線の道路環境について
- ③ 食品ロスの削減について
- ④ 住宅リフォーム促進事業について

個人質問



創政会

市庁舎整備に係る安土町総合支所の活用について

岡田 彦士



問 安土学区民や老蘇学区民からすると、安土町総合支所の具体的な利活用が、今、示されるべきと考えるがどうか。今回の新庁舎建設が、令和5年完成を目指すところから、また安土町との合併からの推進債の活用を考えた時、かつて、安土町の本丸であった総合支所内の配置計画等、またその敷地の利活用等について、今年度耐震工事をされることから、現状どのような状況にあるのか、進捗状況や今後のスケジュール等をお示し頂けませんか。

答 安土町総合支所長

安土町総合支所は、新市基本計画に基づき、新庁舎完成後も引き続き活用することとしています。このため、昨年度に庁内外から活用案の調査や募集を行いました。その結果が、歴史的公文書館機能を有する活用であったことから、現在、新庁舎完成後の活

用のあり方について段階的に議論を関係課により始めています。ただし、安土町総合支所の敷地内で現在、活用している団体の利用計画が、現時点では不確定であるため、目標年次を示すことはできませんが、関連する情報収集に努めて計画的に取り組めます。



【安土町総合支所】

「その他の質疑・質問」

- ① 西の湖の環境保全について
- ② 西の湖回遊路整備について
- ③ 安寧のまちづくり近江八幡市版CCRC事業について

個人質問



政翔会

新しい市庁舎整備事業の 発注・入札方式について

小川 広司



問 事業発注は、詳細設計と施工をなぜ同時発注するのですか。また、入札方式は総合評価方式を採用されると言われていますが、その理由についてお尋ねします。その場合、地域経済への影響や災害応急対策、修繕などの地域維持事業を担っている地域建設業者、水道、電気関連業者等の参画をぜひ検討していただきたいと考えますが、当局のお考えをお聞かせください。

答 総合政策部理事

設計施工一括発注方式の採用理由は、発注者の要求を反映しやすく、設計段階から施工技術を活用した工期短縮が期待でき、施工段階においても事業者の知見による品質向上や事業費削減などが見込めるためです。入札において総合評価方式を採用する理由は、本事業が技術的な工夫や高度な技術提案を要する工事であり、入札価格のみならず技術提案、施工能力等を審査し

総合的な評価も併せて、事業者の選定が可能となるためです。また、地域建設事業者等の参画については、総合評価点の加算を設けるなど今後検討をしております。



【現市庁舎】

「その他の質疑・質問」

①今年度より5年間の土地改良長期計画は、本市土地改良事業でどのように対応すべきものかについて

個人質問



政翔会

ふるさと納税制度における 地域資源認定について

辻 正隆



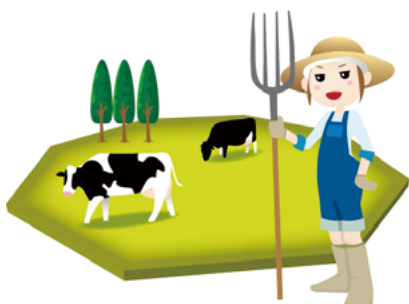
問 近江牛のブランド力低下に対する懸念、ふるさと納税制度の趣旨に反することの2点について異議申し立ての主張をされましたが、この2点について課題は払拭されたのでしょうか。また、近江牛の地域資源認定は、地域の産業として育成に関与していない市町が近江牛を返礼品として提供できるようになることから、生産振興のための基金を県域（返礼品として扱う県内各市町）で創設し、地域資源認定される品目の振興に努めることはできないものかお伺いします。

答 総合政策部理事

今回の審査申出は、滋賀県の手続きに問題があるとして行ったものですが、「近江牛のブランド力低下の懸念」については、県と協議を重ね、本市の主張を概ね反映した大幅な運用ルール等の見直しにおいて、厳格な等

級制限が導入されること等により、懸念が相当払拭できました。「ふるさと納税の趣旨に反すること」についても、運用ルール等を厳格に定めることができました。県域の産業の育成を推進することも可能であり、ふるさと納税の趣旨に則していると考えました。

また、基金創設については、県の地域資源「近江牛」として、振興・発展を図るべく、機会を捉えて、県に提案してまいります。



「その他の質疑・質問」

①アフターコロナにおける経済政策について

個人質問



政翔会

デジタルトランス
フォーメーション(DX)推進

沖 茂樹



問 経済産業省が定義するデジタルトランスフォーメーション(DX)を行政に当てはめると「自治体を取り巻く環境の変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、市民のニーズを基に、住民サービスや様々な計画を見直すとともに、業務そのものや、プロセス、組織風土や文化、そして、これまでの行政のあり方そのものを変革し、選ばれるまちになること。」と理解しました。その上で、近江八幡市としてDX化を進める目的とは何でしょうか。

答 総務部理事

デジタル技術やICT技術が急速に進む中、複雑多様化する市民ニーズ、人口減少社会への対応、加えて不測の事態にも対応できる行政運営のために、行政サービスや組織の在り方を見直す時期が来ています。このようなか、本市で自治体DXを進める目的は、デジタル技術や



ICT技術の活用により、業務の適正化、効率化を図り、職員にしかできない業務に注力するほか、災害等不測の事態が起きても、適正に対応できるように組織体制を作ることにより、安定した市民サービスの提供と質の向上を目指すことであると考えています。

総務常任委員会審査報告

委員長 山本 妙子

総務常任委員会は、6月定例会に付託された条例関連議案4件、その他議案1件について審査するため、6月21日に開催し、当局に詳細な説明を求め、質疑、審査等を行いました。審査過程における主な意見として、議第46号、47号、48号の条例の一部を改正する条例の制定に関連して、市民に関わる行政手続きの中で、既に押印の見直しをされたものについては、一覧表にして分かりやすく市民に周知を行うべきとの意見がありました。

いずれの議案も慎重に審査した結果、当局から提案された全てを全員賛成で可決すべきものと決しました。



委員
富士谷 英正



委員
山元 聡子



副委員長
南 祐輔



委員長
山本 妙子



委員
檜山秋彦



委員
小川広司



委員
平井偕治



委員
北川誠次

教育厚生常任委員会審査報告

委員長 沖 茂樹

教育厚生常任委員会に付託された案件について、6月22日に委員会を開催し、当局に対して詳細な説明を求め、議案質疑等を行い審査しました。

条例議案3件、その他議案2件の計5件について、全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

また、議員提案された意見書「会第5号 今夏のオリンピックの開催中止を国に求める意見書の提出について」は、賛成少数で原案を否決すべきものと決しました。

なお、審査過程における主な意見として、会第5号について、オリンピックは毎年行われているスポーツ大会とは性質が異なり、世界中のアスリートが長年目標として競技に励んでいる特別な大会であるため、新型コロナウイルス感染症に対する万全の対策を講じたうえで、世界が直面する課題を解決した証として大会を開催すべきと考えるため反対との意見がありました。また、国民が自粛生活を強いられている中では、国民の健康と命を最優先に考えるべきであり、今夏のオリンピックは中止し、新型コロナウイルス感染症が収束した段階で実施するべきと立場から賛成との意見がありました。



委員
井上芳夫



委員
森原陽子



副委員長
岩崎和也



委員長
沖 茂樹



委員
山本英夫



委員
小西 励



委員
西津善樹



委員
岡山かよ子

産業建設常任委員会審査報告

委員長 大川 恒彦

産業建設常任委員会は6月23日に委員会を開催し、「議第51号近江八幡市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について」、「議第52号近江八幡市気候非常事態宣言をすることにつき決議を求めることについて」、「議第57号近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」の3件について審査しました。採決の結果、全議案ともに全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

なお審査過程における主な意見として、議第52号では、政府が推進しているゼロエミッションに基づいて、一人ひとりが異常気象について考えなければならぬとの意見がありました。



委員
竹尾 耕児



委員
玉木 弘子



副委員長
道下 直樹



委員長
大川 恒彦



委員
片岡 信博



委員
岡田 彦士



委員
辻 正隆

予算常任委員会審査報告

委員長 岡山かよ子

予算常任委員会は6月18日および6月28日に委員会を開催し、「議第44号令和3年度近江八幡市一般会計補正予算(第2号)」、「議第60号令和3年度近江八幡市一般会計補正予算(第3号)」の2件について審査しました。採決の結果、議第44号および議第60号の両議案ともに全員賛成で原案を可決すべきものと決しました。

なお審査過程における主な意見として、議第44号の新型コロナウイルス対策に係る補正予算について、全ての市民に対して納得いただける施策を行うことは大変苦慮されると考えるが、本予算は、早急に市民生活に向けての予算として組まれており、大きな意味がある。一方、全体的に施策に対する予算編成が市民感覚として反映されているか疑問が残る部分がある。市民が置かれている実情を把握し、今、何が必要とされているか十分考慮されたい。また、予算編成時には、過去の事業を含め、施策に対する十分な検証を行わなければならない。などの意見がありました。

市議会に設置されている各委員会の委員と
一部事務組合議会の議員の構成は以下のとおりです。

職名および委員会・ 一部事務組合議会名	氏名（ ◎：委員長 ○：副委員長 ）
議 長	平 井 侖 治
副 議 長	小 西 勲
監査委員	井 上 芳 夫
議会運営委員会	◎北川 誠次 ○道下 直樹 山本 妙子 森原 陽子 岡山かよ子 辻 正隆
予算常任委員会	◎岡山かよ子 ○南 祐輔 ※委員は全議員（委員長・副委員長のみ記載）
総務常任委員会	※ 委員は14・15ページに掲載しています
教育厚生常任委員会	※ 委員は15ページに掲載しています
産業建設常任委員会	※ 委員は16ページに掲載しています
市庁舎整備等特別委員会	◎辻 正隆 ○玉木 弘子 道下 直樹 山本 妙子 大川 恒彦 森原 陽子 竹尾 耕児 岡田 彦士 富士谷英正 西津 善樹 小西 勲 片岡 信博
議会改革推進委員会	◎竹尾 耕児 ○道下 直樹 岩崎 和也 山本 妙子 南 祐輔 山元 聡子 沖 茂樹 大川 恒彦 森原 陽子 岡山かよ子 富士谷英正 西津 善樹 北川 誠次 小川 広司 山本 英夫
広報広聴委員会	◎小西 勲 ○岩崎 和也 道下 直樹 山本 妙子 南 祐輔 山元 聡子 沖 茂樹 森原 陽子 竹尾 耕児 富士谷英正 西津 善樹 山本 英夫
東近江行政組合議会議員	道下 直樹 岩崎 和也 南 祐輔 沖 茂樹 岡山かよ子

令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）政務活動費収支報告

会派名	創政会 (8名)	政翔会 (3名)	日本共産党 (3名)	公明党 (2名)	新政会 (2名)	公政会 (1名)	志誠会 (1名)	チームはちまん (1名)	ひむれクラブ (1名)	凜成会 (1名)
会派代表者	北川 誠次	辻 正隆	檜山 秋彦	山本 妙子	平井 偕治	富士谷英正	西津 善樹	竹尾 耕児	山本 英夫	山元 聡子
経理責任者	南 祐輔	沖 茂樹	玉木 弘子	岩崎 和也	道下 直樹	富士谷英正	西津 善樹	竹尾 耕児	山本 英夫	山元 聡子
交付額	1,920,000	720,000	720,000	480,000	460,000	420,000	220,000	280,000	200,000	240,000
収入合計額①	1,920,008	720,003	720,000	480,002	460,001	420,000	220,000	280,001	200,001	240,000
調査研究費		122,078			80,097					
研修費										
広報費	571,455	247,600	720,000			420,000	220,000			240,000
広聴費										
要請・陳情活動費	26,940	24,924								
会議費										
資料作成費										
資料購入費	13,200			36,476				8,640	64,200	
人件費										
事務所費										
支出合計額②	611,595	394,602	720,000	36,476	80,097	420,000	220,000	8,640	64,200	240,000
返還額(①-②)	1,308,413	325,401	0	443,526	379,904	0	0	271,361	135,801	0

収入合計額 ①： 交付額に預託利息等が発生した場合は、当該①に含めています。

返還額(①-②)： 収入合計額①よりも支出合計額②が大きい場合は、返還額はありません。(差額は自己負担)

※各会派所属議員数は、年度内に会派異動による人数の増減が生じた会派についても、令和3年3月31日現在での人数を記載しています。そのため、所属人数が同数の会派でも会派異動の時期及び人数によって交付額は異なります。また、各会派の所属議員は、ホームページの市議会議員名簿に掲載しています。

令和3年第2回（4月）近江八幡市議会臨時会・令和3年第2回（6月）近江八幡市議会定例会に提出された議案と議決結果

賛否の分かれた議案		付託委員会	会派	創政会				政翔会		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧								
議案番号	件名		議決結果	南大川	井上	岡山	岡田	小西	片岡	北川	沖辻	小川	森原	玉木	檜山	岩崎	山本	道下	平井	富士谷	西津	竹尾	山本	山元	
6月市議会定例会																									
◇ 議員提出議案（意見書）																									
会第5号	今夏のオリンピックの開催中止を国に求める意見書の提出について	教厚	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	欠	×	×	×	-	×	×	○	○	×	

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 退…退席 除…除斥 一…議長は採決に加わっていません。

①：日本共産党 ②：公明党 ③：新政会 ④：公政会 ⑤：志誠会 ⑥：チームはちまん ⑦：ひむれクラブ ⑧：凜成会

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案

議案番号	件名	付託委員会
4月市議会臨時会		
◇ 予 算		
議第38号	専決処分の承認を求めることについて 令和2年度近江八幡市一般会計補正予算（第15号）	予算
議第40号	専決処分の承認を求めることについて 令和3年度近江八幡市一般会計補正予算（第1号）	予算
◇ 条 例		
議第39号	専決処分の承認を求めることについて (1)近江八幡市税条例等の一部を改正する条例の制定について (2)近江八幡市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について (3)近江八幡市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	総務

全員一致で承認・可決・同意・採択した議案		
◇ 人 事		
議第41号	近江八幡市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第42号	近江八幡市監査委員の選任につき同意を求めることについて	省略
6月市議会定例会		
◇ 予 算		
議第44号	令和3年度近江八幡市一般会計補正予算（第2号）	予算
議第60号	令和3年度近江八幡市一般会計補正予算（第3号）	予算
◇ 条 例		
議第43号	専決処分の承認を求めることについて 近江八幡市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第45号	近江八幡市学校給食費に関する条例の制定について	教育厚生
議第46号	近江八幡市公平委員会委員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第47号	近江八幡市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第48号	近江八幡市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第49号	近江八幡市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務
議第50号	近江八幡市国民健康保険条例等の一部を改正する条例の制定について	教育厚生
議第51号	近江八幡市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
議第57号	近江八幡市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設
◇ 人 事		
議第53号	馬淵財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第54号	野村財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第55号	江頭財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	省略
議第61号	近江八幡市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	省略
◇ そ の 他		
議第52号	近江八幡市気候非常事態宣言をすることにつき決議を求めることについて	産業建設
議第56号	旧桐原幼稚園園解体工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	教育厚生
議第58号	文芸セミナーヨ改修工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	総務
議第59号	八幡小学校屋内運動場等改修工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	教育厚生

付託委員会欄の「予算」は予算常任委員会、「総務」は総務常任委員会、「教育厚生」は教育厚生常任委員会、「産業建設」は産業建設常任委員会です。「庁舎」は市庁舎整備等特別委員会です。

議会だより訂正のお知らせとお詫び

「おうみはちまん 議会だより」第47号（令和3年5月1日発行）19ページの内容に誤りがありました。つきましては、下記のとおり訂正させていただきます。

議員提出議案（意見書）

会第1号 新型コロナウイルス感染症拡大抑止のための社会的検査を求める意見書の提出について

議決結果 誤) 可決
正) 否決

ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

9月定例会のご案内 令和3年第3回（9月）市議会定例会は、次のような日程で予定しています。それ以外の日は、休会の予定です。

開会日	質問日	委員会	閉会日
8月30日（月）	9月8日（水）、9日（木）、10日（金）	9月10日（金）、13日（月）、14日（火）、15日（水）、16日（木）、17日（金）	9月24日（金）

皆さまからの議会運営に関するご意見を、メールまたは文書にて、議会事務局までお寄せください。

〒523-8501 近江八幡市桜宮町236番地 Eメール：020200@city.omihachiman.lg.jp FAX：0748-36-7101

近江八幡市気候非常事態宣言について

令和2年第4回（12月）近江八幡市議会定例会において「気候非常事態宣言及び気候変動に対する取り組みを推進する請願」が上程され、採択となりました。

これを受け、市民、事業者及び行政が一体となって環境に対する意識を高め、一人一人が積極的かつ継続的に行動することを目標とする「近江八幡市気候非常事態宣言」を表明するために、令和3年第2回（6月）近江八幡市議会定例会に「近江八幡市気候非常事態宣言をすることにつき決議を求めることについて」の議案が上程され、全員賛成で議決しました。

気候非常事態宣言は、「びわ湖の日」の制定40周年にあたる7月1日に行われ、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目標としています。

今後は、市議会としましても市民のみなさまとともに環境問題に取り組んでまいりますので、ご協力をお願いいたします。



近江八幡市気候非常事態宣言

地球温暖化の影響とみられる記録的な猛暑や局地的な集中豪雨による洪水などが、国内のみならず、世界各地で毎年のように発生しています。深刻な被害をもたらしている近年の状況から、地球温暖化は、気候変動の域を超えて危機的ともいえる状況に直面していると考えられます。

2015年に採択された「パリ協定」では、世界の平均気温上昇を1.5℃までに抑えることが目標として掲げられ、この目標を達成するためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが求められています。

本市は、西の湖やその周辺の水郷地帯などのほか、平野部には豊かな農地が広がり、周囲の山々とともに里山景観を形成するなど、非常に豊かな自然環境に恵まれています。

安心して豊かに暮らすことのできる環境を後世に継承し、SDGsの目指す持続可能な社会の実現のため、現在の気候変動が地球規模で危機的状況であることを認識するとともに、今を生きる我々市民、事業者及び行政が一体となって環境に対する意識を高め、一人一人が積極的かつ継続的に行動することが大切です。

このようなことから、本市は、ここに、気候非常事態を宣言し、私たちが環境の一部として健全な関係を築くことのできる経済・社会活動を推進するとともに、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指します。

* SDGs…Sustainable Development Goals（エス・ディー・ジーズ）とは、「持続可能な開発目標」の略称。2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟国193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標。